



例年以上に寒暖差の激しい今日この頃、体調管理にもお気を付けください。
法学類月報第 54 号では、法科大学院の野坂佳生先生のエッセイ、公開講座のお知らせ、法学類 OB の川島慶大さんからの先輩メッセージをお届けします。

◆◆教員エッセイ◆◆ 第 19 回 野坂佳生先生（法務研究科・民事実務）

◆ 私のライフワーク「法教育」（ついでに金沢法友会への入会勧誘？）

私は昨年 6 月に日弁連「市民のための法教育委員会」の委員長に就任しましたが、「法教育は法律を扱わない」と説明すると、ほとんどの弁護士が怪訝な顔で「じゃあ何を扱うの？」と尋ねます。

右のイラストは、米国の代表的な法教育教材 Center for Civic Education “Foundations of Democracy” の小学校低学年用テキスト ‘Fair Bears Learn about Justice’ (1998) からの引用です。真ん中の熊さんが “Why do I get a smaller Bowl?”, “Is that fair?” と尋ねていますが、どこにも（教師用指導書にも）答えはありません。「それは子どもたちが考えること



(left to the children)」と指導書にあります。ただし、指導書には ‘help children understand the idea of need’ とあり、実質的平等に関する need 基準という視点は教師が提示します（小学校高学年では fitness 基準と desert 基準も扱います）。このように、法教育が扱うのは、法律ではなくて「正義についての見方・考え方」です。米国では、民主的な社会を次の世代に引き継ぐために、このような学習を小学校入学後ただちに始めるのです。

さて、我が国における「大学生による法教育」のパイオニアとして金沢法友会という金沢大学公認サークルが全国に勇名を轟かせていることを知っていましたか？ さ、これを読んでいるあなた、さっそく法友会に入会して明日から法教育の実践に参加しましょう。きっと大学生活がバラ色になりますよ（笑）。

公開講座「高校生から分かる法学・政治学の諸問題」を開講

お知らせ

法学類では、法科大学院と共同で、高校生を含む市民の皆様を対象とする公開講座「高校生から分かる法学・政治学の諸問題」を下記の通り開講します。皆様の

ご参加をお待ちしています。

【日時】 7月1日(日) および7月8日(日) いずれも13時～16時20分

【場所】 金沢大学サテライト・プラザ(金沢市西町三番丁16)

【講師・テーマ】 7月1日(日) 洪淳康 准教授「競争は怖いものなのか？」

石田道彦 教授「人口減少社会と社会保障」

7月8日(日) 宇都宮純一 教授「先端科学技術と憲法」

河合晃一 講師「国・都道府県・市町村の役割分担と政策」

【定員】40名 【受講料】(全4回)3,000円(高校生1,200円)

【申込期限】6月22日(金)

【お申込み・お問い合わせ先】

金沢大学地域連携推進センター(076-264-5272 または 5273、平日9時～17時受付)

インターネット申込み <https://open-learning.crc.kanazawa-u.ac.jp/kouza/130/detail>

採用担当として聞きたい話

採用担当として学生の皆さんと会話をすると「大学の勉強をアピールする学生が少ない」と感じます。そこで、面接対策本に目を通してみると「バイトやサークルのリーダー経験」や「ボランティア経験」をアピールするエピソードを用意しましょう、という内容が書かれています。これは、日本の多くの企業は「大学の勉強」以上に「リーダー経験」や「ボランティア経験」といったものを重視している、ということを表しています。企業としては、自社の仕事に役立つかわからない学生の専門知識より、リーダー適性、コミュニケーション能力、奉仕精神のようなものを見たいのでしょう。企業のニーズを捉え、学生側がそのような経験を積もうとする、という動きがあるのは当然です。

たしかにリーダー適性やコミュニケーション能力は重要ですが、私は「大学の勉強」で得られる能力も重視します。学生の皆さんが何を、どれだけ、どのように学び、何を身につけたか。それは、社会に出てから不断に続く、「学び続けること」に対する適性を、そのまま表す指標となるからです。弊社には法務課が存在し、法律知識を活かせる環境がありますが、法学を学んで身につく論理的思考力や読解力、問題発見能力は、法務云々ではなく社会人として汎用的に求められる能力です。法学で、何を身につけたか、自信を持ってアピールしてください。

川島 慶大(2015年卒業 株式会社クスリのアオキ採用担当)



法学類HP
へGO!



- 法学類の学生、卒業生、教員に関するイベント等の情報を、ぜひお寄せください。
- 関係者の皆様のご寄稿を歓迎します。採用された方には、法学類グッズを進呈します。
- 本誌のバックナンバーは、金沢大学法学類 Web サイトに掲載していますのでご覧ください。<http://law.w3.kanazawa-u.ac.jp//category/brochure/geppo>
また、メールでの定期配信(無料)をご希望の方は、金沢大学人間社会系事務部学生課(n-kyomu@adm.kanazawa-u.ac.jp)までお申し込みください。
- お読みになってのご意見ご感想は、上記メールアドレスまでお寄せください。